

◆新造船「はまゆう」と「それいゆ」2 隻が同時就航 —東京九州フェリー株式会社—

梅雨明け間近の7月1日、神奈川県横須賀港（横須賀市）と福岡県の新門司港（北九州市）を結ぶ航路に、東京九州フェリー株式会社の2隻の新造船「はまゆう」と「それいゆ」が就航した。

新造船の就航に先駆け、横須賀港と新門司港のフェリーターミナルに着岸しているそれぞれの船では、お披露目の内覧会が開催されたほか、就航前日に横須賀市で、関係者を集めての就航記念式典が開催され、本組合からは田中伸一組合長代行と平岡英彦国内局長が出席した。

新造船の内覧会

「はまゆう」の内覧会は6月30日に横須賀フェリーターミナルで開催され、内覧会には田中組合長代行と平岡国内局長、齋藤洋関東地方支部長、荻山淳中央執行委員会企画室副室長が本船を訪れ、現場組合員を激励した。

また、「それいゆ」の内覧会は6月29日に新門司フェリーターミナルで開催され、本組合から浦隆幸関西地方支部長と大滝恒大阪支部長が訪船し、就航準備に余念のない現場組合員を激励した。

2隻の内覧会は、いずれも新型コロナウイルス感染症予防対策を万全にし、見学に関係者に絞った上で、密にならないよう配慮し実施された。

横須賀港～新門司港を21時間で結ぶ（航海速力=28.3ノット）

新造船2隻の船名は、それぞれ横須賀市が制定した市の花である「はまゆう」と、北九州市が制定する市の花「それいゆ」（フランス語でひまわり）から命名したもの。

新造船の特徴は、横須賀と北九州を21時間で結ぶ速さをはじめ、船内において船旅が満喫できる露天風呂、静かな読書タイムを楽しめるフォワードサロン、プラネタリウムや映画鑑賞など、リゾート感満載の充実したアクティビティに加え、外部デッキでは家族で楽しめるバーベキューエリアも完備されている。

2隻の新造船＝同型船（要目）

▽総 ト ン 数 = 1万5515トン

▽全 長 = 222.5m

▽船 幅 = 25m

▽旅 客 定 員 = 268人

▽車輛積載能力 = トラック約154台、乗用車30台

▽航 海 速 力 = 28.3ノット

また、2隻の新造船はSOx（硫黄酸化物）規制強化対応でスクラバー（排ガス浄化装置）を搭載しているほか、船首形状を垂直にして垂線間長を長くすることにより、推進効率を高める垂直ステム、左右のプロペラ間距離を従来船より大幅に近づけることで、推進効率を図ると共に、推進軸を支持する構造物（シャフトブラケット及びボッシング）を縮小して、船体抵抗の低減を図る近接二軸推進システムを導入した。

「海員だより」